

令和4年度公益活動報告

公益活動推進センター長 高比良 光治

1. はじめに

公益活動推進センター(以下「公益センター」という。)では、当協会の公益事業として、次世代を担う子供たちやその保護者、企業で働く人々へ環境学習の場を提供するとともに、事業者や市民の方々が推し進める省エネルギー活動の支援等を行っています。

公益センターは、現在、福岡県地球温暖化防止活動推進センター、エコアクション 21 (EA21) 地域事務局、環境情報啓発センター及び九州グリーン購入ネットワーク(九州 GPN: Green Purchasing Network)事務局の4部門から構成されています。以下に、各部門の令和4年度の活動内容を紹介します。

2. 各部門の活動内容

2.1 環境情報啓発センター

環境情報啓発センターでは、主に環境教育に関わる講座や観察会の企画・運営、またはそのサポート等を行っています。

令和4年度は、福岡市保健環境学習室「まもる一む福岡」の運営を前年度に引き続き受託し、来館者への展示案内や実験などの体験学習の指導、生物の展示・管理、表1に示す講座の企画・運営などの業務を行いました。4月から10月上旬にかけては、福岡コロナ警報やコロナ特別警報が断続的に発動されましたが、令和2～3年度のように臨時休館することなく運営できました。講座についても、中止や延期することなく、感染防止対策を徹底しながら実施することができました。講座は大学関係者、NPO 団体、大学生や高校生の協力を得ながら実施し、参加者から好評をいただきました。また、今年度は「まもる一む福岡「ガイア」パワーポイント動画作成業務委託」を受託し、ガイアで使用する動画を作成しました。

表1 令和4年度にまもる一む福岡で実施した講座

分類	講座名	講師(所属) 敬称略
特別講座	うなぎの不思議なくらし	望岡典隆 (九州大学)
	ネコとの距離がぐーっと近くなる話	伊澤雅子 (北九州市立いのちのたび博物館)
	すばらしきサメの世界	高田浩二(海の博物館研究所)
	見て、さわって博多湾の魚と漁業を学ぼう～美味しい魚と危険な魚～	半田孝之 (福岡市漁業協同組合伊崎支所)
	水族館のお仕事は驚きの連続だ	岩田知彦 (マリンワールド海の中道)
	アレルギーから子供を守ろう～食物アレルギーと対応法を学ぼう～	柴田瑠美子 (国立病院機構福岡病院)
	きみもカプトガニ博士になろう～生きている化石カプトガニは自然豊かな海の宝～	高田浩二(海の博物館研究所)
	最近天気がおかしいぞ～あなたならどうする?～	龍山康朗 (RRB気象デジタルセンター)
	みてみよう、測ってみよう放射線	百島則幸※ (九州大学名誉教授)
	動物園のお仕事は大変だけれども楽しい	川口陽子他2名 (福岡市動物園)
	高校生から学ぼう～雲と天気～	城東高校科学部
	木の実のひみつを知ろう～オリジナルストラップ作り～	岩熊志保 (一般社団法人まほろば自然学校)
	実験教室	くるくる回る驚きの単極モーターを作ろう
もつとわれないシャボン玉を作ろう		
ビリビリ体験～ライデン瓶を作ろう～		
超低温の世界を体験しよう		九州大学自然環境保護団体「BRIDGE」(11名)
DNAってなんだろう		
夏のフィールド疑似体験～伊都の自然を体験しよう～		
身近な昆虫の標本作り		
音のひみつを調べよう	田中久生 (福岡市科学館)	
ラボ体験	ハンドメイド化粧水を作ろう	高島洋美※
	洗濯のりを使ってスライムを作ろう	
	インクの色を分けてみよう	
	煮干しを解剖～魚のからだのつくりを知ろう～	
	何のニオイかあててみよう	
	アルソミトラグライダーを作ろう	
	光るスライム	
	カプトガニのペーパークラフト	
	松ぼっくりツリーを作ろう	
	ビー玉万華鏡を作ろう	
バランストンボを作ろう		
レインボー万華鏡を作ろう		
紙でバランスパードを作ろう		
カプトガニ観察会	高島洋美※	

※一般財団法人 九州環境管理協会職員

近隣市町や団体の依頼を受けて講師を派遣してきた観察会やセミナー等についてもコロナ禍の影響を受け、ビオトープ観察会を兼ねたメダカ飼育教室の1件のみでした。

2.2 地球温暖化防止活動推進センター

令和 4 年度は福岡県地球温暖化防止活動推進センター第 4 期認可(平成 30 年度～令和 4 年度)の最終年度として、福岡県地球温暖化防止活動推進員(以下「推進員」という。)をはじめとする県民や事業者による温暖化防止に向けた様々な活動を支援しました。

福岡県から受託した「エコファミリー応援事業実施業務」では、九州全域まで拡大した「九州エコファミリー応援アプリ」の登録者を募集するための広報活動(ポスター・チラシ配布、フェイスブックの広告)を行いました。また、環境省の「地域における地球温暖化防止活動促進事業」では、大学生を対象とした気候変動講座や専門家によるオンラインサイエンスカフェの他、事業者向けの広報・啓発としてセミナーを開催するとともに、「中小規模事業所向け省エネ手引書」を作成し、県内事業所及び関係機関に配布しました。また、「福岡県省エネルギー相談事業」では、県内約 100 事業所を対象に専門家を派遣して、設備の運用改善や更新による事業者の

省エネ対策を支援しました。なお、地域環境イベントはコロナ禍前に比べると少ないものの、令和 3 年度に比べて増加し、回復の兆しが伺われました。

主な事業活動は次のとおりです。

- ・推進員が参加する環境イベントへの普及啓発用資器材の貸出及び活動費の一部支援
- ・環境学習会への講師派遣「ふくおか環境マイスター派遣事業」
- ・幼稚園、保育所、小学校等への講師派遣「エコアドバイザー派遣」
- ・地球温暖化防止活動推進員研修会の開催
- ・県内の温室効果ガス排出量(2020 年度)調査
- ・県センターホームページの管理, 更新
- ・情報誌「減 CO2 クラブ 2022」の作成, 発行
- ・エコファミリー応援事業実施業務
- ・地域における地球温暖化防止活動促進事業
- ・福岡県省エネルギー相談事業実施業務



図 1 福岡県地球温暖化防止活動推進センターの活動の一例

2.3 エコアクション 21 地域事務局

エコアクション 21 (以下「EA21」という。)とは、企業、学校、公共機関等が行う事業活動の中で、事業者自ら省エネルギー、省資源、廃棄物削減等の環境配慮に取り組む仕組みを企画、構築、運用する環境マネジメントシステム(EMS)の一つです。環境省が策定した「エコアクション 21 ガイドライン 2017 年版」に基づき、環境への取り組みを適切に実施している事業者を認証し、登録する制度が EA21 の「認証・登録制度」です。

当協会は、2005 (平成 17) 年に EA21 地域事務局 ECO-KEEA (エコ・ケア) 九環協として承認・登録を受け、EA21 の「認証・登録制度」の手続きのサポートのほか、EA21 に興味のある事業者を対象としたセミナーの開催や出前講座等、各種サービスを提供しています。

令和 2 年度から新たな地域事務局制度の導入により「中核地域事務局」として暫定運用を開始しました。これに伴い現在約 460 事業者の認証・登録を所管するとともに、事業者の取組を審議する地域判定委員会では約 640 事業者の審議を担当しています。

事業としては、EA21 の認証・登録を促進するため、関係機関等で構成する普及戦略会議の開催、福岡県・福岡市、佐賀県及び熊本県と連携した「自治体イニシアティブ・プログラム」を開催し、グループコンサルティングにより事業者の取り組みを支援しました。さらに、認証・登録事業者の EA21 の取り組みを一層支援するため、フォローアップセミナーを開催しました。また、信用金庫と連携した普及活動を令和 4 年度から開始し、信金中央金庫の九州内の 2 支店それぞれが主催する Web セミナーに講師を派遣しました。

主な事業活動は次のとおりです。

- ・福岡・熊本・佐賀地区の各 EA21 導入セミナー
- ・福岡地区自治体イニシアティブ・プログラム
- ・佐賀地区自治体イニシアティブ・プログラム
- ・熊本地区自治体イニシアティブ・プログラム
- ・関係企業グリーン化プログラム
- ・認証・登録事業者向け継続のためのフォローアップセミナー(九州・山口地区を対象)
- ・講師派遣

2.4 九州グリーン購入ネットワーク事務局

九州グリーン購入ネットワークは、持続可能な社会の実現を目指し、企業・行政・消費者が連携して九州地域のグリーン購入の取り組みを促進するために設立されたものです。当協会は平成 24 年 4 月から事務局を引き継ぎ、事業の企画を行う幹事会の定期的な開催や会報の発送等の事務局運営ほか、グリーン購入の普及啓発等のために環境イベントへの出展、環境先進企業見学会やグリーン購入セミナーを例年開催しています。

令和 2～3 年度は新型コロナに係る緊急事態宣言等により一部の活動を中止しましたが、令和 4 年度は感染対策を行いながら福岡市と鹿児島市の環境イベントへの出展を 10 月に、オンラインによるグリーン購入セミナーの開催を 2 月に行いました。

当事務局の運営は、当初数年間という約束で引き継ぎましたが、既に 10 年を経過したこともあり、他の組織に移管し、令和 5 年度からは一会員として普及拡大に貢献することに致しました。

グリーン購入セミナー in 福岡 2022 プログラム

- 主催者挨拶 九州グリーン購入ネットワーク 代表 濱砂 清
- 基調講演
「脱炭素社会に向けた産官学連携の推進～九州の特長を活かしたバリューチェーンを創れるか?」九州大学大学院 総合理工学研究院 教授 永長久寛 氏
- 事例紹介 第 1 部 ー第 23 回グリーン購入大賞受賞者ー
・「捨てるという概念を捨てよう」
Loop Japan 合同会社代表 エリック・カワバタ 氏
・「木になる紙」の公共調達による CO₂ 排出量削減の取組みについて
～新たな環境価値の共創～ 佐賀市役所総務部契約監理課課長 山口和海 氏
- 事例紹介 第 2 部 ー先進事例ー
・「リサイクルの町から世界の未来をつくる町へ」
大崎町役場住民環境課環境対策係主事 池田圭佑 氏
・「みんなのねんどでつなぐ未来」株式会社まみらず代表取締役 伊藤慶子 氏
- 九州グリーン購入ネットワーク会員の活動紹介
・「イオン九州株 環境・社会貢献の取り組み」
イオン九州 (株) コーポレートコミュニケーション本部サステナブル協創部 樋口綾子 氏
・「福岡県におけるフードバンク活動」
(一社) 福岡県フードバンク協議会事務局長 向居秀文 氏
(エフコープ生活協同組合 組合員活動部 ネットワーク推進課所属)
- 意見交換・交流会

3. おわりに

公益センターの活動は、各講座の講師、推進員、EA21 審査員や判定委員等の先生など多くの方々のご支援・ご尽力により成り立っています。この場をお借りして皆様にお礼を申し上げますとともに、皆様方や私どもの活動により、持続可能なより良い社会に少しでも近づきますことを祈念致します。